

計算書類に対する注記（法人全体用）

1. 継続事業の前提に関する注記

継続事業の前提に重要な疑義を生じさせる事象や状況はありません。

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

- ・満期保有目的の債権等―償却原価法（定額法）
- ・上記以外の有価証券で時価の有るもの ― 決算日の市場価格に基づく時価法

(2) 固定資産の減価償却の方法

- ・建物 構築物 機械及び装置 車輛運搬具 器具及び備品 ― 定額法
- ・リース資産

当法人に有価証券及びリース資産はありません。

(3) 引当金の計上基準

- ・賞与引当金

夏期賞与の支給見込額のうち当期に所属する額及び対応社会保険料を計上しています。

3. 重要な会計方針の変更

該当なし

4. 法人で採用する退職給付制度

加入している退職共済制度は、次のとおりです。

- ・確定拠出型退職給付制度 ― 独立行政法人医療福祉機構が主催する退職共済制度

5. 法人が作成する計算書類と拠点区分、サービス区分

当法人の作成する計算書類は以下のとおりになっている。

(1) 法人全体の計算書類（会計基準省令第1号第1様式、第2号第1様式、第3号第1様式）

(2) 事業区分別内訳表(会計基準省令第1号第2様式、第2号第2様式、第3号第2様式)

(3) 社会福祉事業における拠点区分別内訳表(会計基準省令第1号第3様式、第2号第3様式、第3号第3様式)

(4) 公益事業における拠点区分別内訳表(会計基準省令第1号第3様式、第2号第3様式、第3号第3様式)

当法人では、公益事業を実施していないため作成していない。

(5) 収益事業における拠点区分別内訳表(会計基準省令第1号第3様式、第2号第3様式、第3号第3様式)

当法人では、収益事業を実施していないため作成していない。

6. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりです。

(単位：円)

| 基本財産の種類 | 前期末残高       | 当期増加額 | 当期減少額      | 当期末残高       |
|---------|-------------|-------|------------|-------------|
| 土地      | 0           | 0     | 0          | 0           |
| 建物      | 296,478,119 | 0     | 10,694,530 | 285,783,589 |
| 定期預金    | 0           | 0     | 0          | 0           |
| 合計      | 296,478,119 | 0     | 10,694,530 | 285,783,589 |

7. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

８． 担保に供している資産

担保に供されている資産は以下のとおりです。

|          |              |
|----------|--------------|
| 土地（基本財産） | 0円           |
| 建物（基本財産） | 285,783,589円 |
| 計        | 285,783,589円 |

担保している債務の種類および金額は以下のとおりです。

|                       |    |
|-----------------------|----|
| 設備資金借入金（１年以内返済予定額を含む） | 0円 |
| 計                     | 0円 |

９． 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は以下のとおりです。

(単位：円)

|          | 取得価額        | 減価償却累計額     | 当期末残高       |
|----------|-------------|-------------|-------------|
| 建物（基本財産） | 500,456,001 | 214,672,412 | 285,783,589 |
| 建物       | 17,765,890  | 10,919,696  | 6,846,194   |
| 構築物      | 89,167,849  | 86,651,680  | 2,516,169   |
| 機械及び装置   | 0           | 0           | 0           |
| 車輛運搬具    | 1,250,000   | 291,667     | 958,333     |
| 器具及び備品   | 40,436,772  | 33,810,337  | 6,626,435   |
| 有形リース資産  | 0           | 0           | 0           |
| 合計       | 649,076,512 | 346,345,792 | 302,730,720 |

１０． 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

(単位：円)

|       | 債権額 | 徴収不能引当金の当期末残高 | 債権の当期末残高 |
|-------|-----|---------------|----------|
| 事業未収金 |     |               |          |
| 未収金   |     |               |          |
| 未収補助金 |     |               |          |

１１． 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

１２． 関連当事者との取引の内容

該当なし

１３． 重要な偶発債務

該当なし

１４． 重要な後発事象

該当なし

１５． 合併及び事業の譲渡若しくは事業の譲受け

該当なし

１６． その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債

及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

- (１) 会計処理上の見積方法の変更 — 該当なし
- (２) 新たに採用した会計処理に関する事項 — 該当なし
- (３) 勘定科目の内容について特に説明を要する事項 — 該当なし
- (４) 法令、所轄庁の通知等で特に説明を求められている事項 — 該当なし

# 計算書類に対する注記（法人拠点区分用）

## 1. 重要な会計方針

### （1）有価証券の評価基準及び評価方法

- ・満期保有目的の債権等－償却原価法（定額法）
- ・上記以外の有価証券で時価の有るもの－決算日の市場価格に基づく時価法

### （2）固定資産の減価償却の方法

- ・建物 構築物 機械及び装置 車輛運搬具 器具及び備品－定額法
  - ・リース資産
- 当法人に有価証券及びリース資産は有りません。

### （3）引当金の計上基準

- ・賞与引当金
- 夏期賞与の支給見込額のうち当期に所属する額及び対応社会保険料を計上しています。

## 2. 重要な会計方針の変更

該当なし

## 3. 採用する退職給付制度

加入している退職共済制度は、次のとおりです。

- ・確定拠出型退職給付制度－独立行政法人医療福祉機構が主催する退職共済制度

## 4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類等は以下のとおりになっている

### （1）本部拠点計算書類(会計基準省令第1号第4様式、第2号第4様式、第3号第4様式)

### （2）拠点区分資金収支明細書（別紙3（⑩））は省略している。

## 5. 基本財産の増減の内容及び金額

該当なし

## 6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩

該当なし

## 7. 担保に供している資産

該当なし

## 8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は以下のとおりです。

（単位：円）

|          | 取得価額 | 減価償却累計額 | 当期末残高 |
|----------|------|---------|-------|
| 建物（基本財産） | 0    | 0       | 0     |
| 建物       | 0    | 0       | 0     |
| 構築物      | 0    | 0       | 0     |
| 機械及び装置   | 0    | 0       | 0     |
| 車輛運搬具    | 0    | 0       | 0     |
| 器具及び備品   | 0    | 0       | 0     |

|         |   |   |   |
|---------|---|---|---|
| 有形リース資産 | 0 | 0 | 0 |
| 合計      | 0 | 0 | 0 |

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高  
該当なし
10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益  
該当なし
11. 重要な後発事象  
該当なし
12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項  
該当なし

計算書類に対する注記（西脇こども園拠点区分用）

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
  - 満期保有目的の債権等－償却原価法（定額法）
  - 上記以外の有価証券で時価の有るもの－決算日の市場価格に基づく時価法
- (2) 固定資産の減価償却の方法
  - 建物 構築物 機械及び装置 車輛運搬具 器具及び備品－定額法
  - リース資産

当法人に有価証券及びリース資産は有りません。
- (3) 引当金の計上基準
  - 賞与引当金

夏期賞与の支給見込額のうち当期に所属する額及び対応社会保険料を計上しています。

2. 重要な会計方針の変更

該当なし

3. 採用する退職給付制度

- 加入している退職共済制度は、次のとおりです。
- 確定拠出型退職給付制度－独立行政法人医療福祉機構が主催する退職共済制度

4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類等は以下のとおりになっている

- (1) 西脇こども園拠点計算書類(会計基準省令第1号第4様式、第2号第4様式、第3号第4様式)
- (2) 拠点区分資金収支明細書（別紙3（⑩））は省略している。

5. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位：円)

| 基本財産の種類 | 前期末残高       | 当期増加額 | 当期減少額      | 当期末残高       |
|---------|-------------|-------|------------|-------------|
| 土地      | 0           | 0     | 0          | 0           |
| 建物      | 296,478,119 | 0     | 10,694,530 | 285,783,589 |
| 定期預金    | 0           | 0     | 0          | 0           |
| 合計      | 296,478,119 | 0     | 10,694,530 | 285,783,589 |

6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩

該当なし

7. 担保に供している資産

担保に供されている資産は以下のとおりです。

|          |              |
|----------|--------------|
| 土地（基本財産） | 0円           |
| 建物（基本財産） | 285,783,589円 |
| 計        | 285,783,589円 |

8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は以下のとおりです。

(単位：円)

|          | 取得価額        | 減価償却累計額     | 当期末残高       |
|----------|-------------|-------------|-------------|
| 建物（基本財産） | 500,456,001 | 214,672,412 | 285,783,589 |
| 建物       | 17,765,890  | 10,919,696  | 6,846,194   |
| 構築物      | 89,167,849  | 86,651,680  | 2,516,169   |
| 機械及び装置   | 0           | 0           | 0           |
| 車輛運搬具    | 125,000     | 29,167      | 95,833      |
| 器具及び備品   | 38,167,692  | 32,987,344  | 5,180,348   |
| 有形リース資産  | 0           | 0           | 0           |
| 合計       | 645,682,432 | 345,260,299 | 300,422,133 |

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

該当なし

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

11. 重要な後発事象

該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし

## 計算書類に対する注記（アミコ拠点区分用）

## 1. 重要な会計方針

## （1）有価証券の評価基準及び評価方法

- ・満期保有目的の債権等一償却原価法（定額法）
- ・上記以外の有価証券で時価の有るもの — 決算日の市場価格に基づく時価法

## （2）固定資産の減価償却の方法

- ・建物 構築物 機械及び装置 車輛運搬具 器具及び備品 — 定額法
- ・リース資産

当法人に有価証券及びリース資産は有りません。

## （3）引当金の計上基準

- ・賞与引当金

夏期賞与の支給見込額のうち当期に所属する額及び対応社会保険料を計上しています。

## 2. 重要な会計方針の変更

該当なし

## 3. 採用する退職給付制度

加入している退職共済制度は、次のとおりです。

- ・確定拠出型退職給付制度 — 独立行政法人医療福祉機構が主催する退職共済制度

## 4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類等は以下のとおりになっている

## （1）アミコ拠点計算書類(会計基準省令第1号第4様式、第2号第4様式、第3号第4様式)

## （2）拠点区分事業活動明細書（別紙3（Ⅺ））

ア 放課後等デイサービスアミコ

イ 児童発達支援アミコ

## （3）拠点区分資金収支明細書（別紙3（Ⅹ））は省略している。

## 5. 基本財産の増減の内容及び金額

該当なし

## 6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩

該当なし

## 7. 担保に供している資産

該当なし

## 8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は以下のとおりです。

(単位：円)

|          | 取得価額        | 減価償却累計額  | 当期末残高       |
|----------|-------------|----------|-------------|
| 建物（基本財産） | 0           | 0        | 0           |
| 建物       | 0           | 0        | 0           |
| 構築物      | 0           | 0        | 0           |
| 機械及び装置   | 0           | 0        | 0           |
| 車輛運搬具    | 1, 125, 000 | 262, 500 | 862, 500    |
| 器具及び備品   | 1, 812, 800 | 633, 114 | 1, 179, 686 |
| 有形リース資産  | 0           | 0        | 0           |
| 合計       | 2, 937, 800 | 895, 614 | 2, 042, 186 |

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

該当なし

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

11. 重要な後発事象

該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし

# 計算書類に対する注記（あおぞら保育園拠点区分用）

## 1. 重要な会計方針

### （1）有価証券の評価基準及び評価方法

- ・満期保有目的の債権等一償却原価法（定額法）
- ・上記以外の有価証券で時価の有るもの ― 決算日の市場価格に基づく時価法

### （2）固定資産の減価償却の方法

- ・建物 構築物 機械及び装置 車輛運搬具 器具及び備品 ― 定額法
- ・リース資産

当法人に有価証券及びリース資産は有りません。

### （3）引当金の計上基準

- ・賞与引当金

夏期賞与の支給見込額のうち当期に所属する額及び対応社会保険料を計上しています。

## 2. 重要な会計方針の変更

該当なし

## 3. 採用する退職給付制度

加入している退職共済制度は、次のとおりです。

- ・確定拠出型退職給付制度 ― 独立行政法人医療福祉機構が主催する退職共済制度

## 4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類等は以下のとおりになっている

### （1） あおぞら保育園保育園拠点計算書類(会計基準省令第1号第4様式、第2号第4様式、第3号第4様式)

### （2） 拠点区分資金収支明細書（別紙3（⑩））は省略している。

## 5. 基本財産の増減の内容及び金額

該当なし

## 6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩

該当なし

## 7. 担保に供している資産

該当なし

## 8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は以下のとおりです。

（単位：円）

|          | 取得価額 | 減価償却累計額 | 当期末残高 |
|----------|------|---------|-------|
| 建物（基本財産） | 0    | 0       | 0     |
| 建物       | 0    | 0       | 0     |
| 構築物      | 0    | 0       | 0     |

|         |         |         |         |
|---------|---------|---------|---------|
| 機械及び装置  | 0       | 0       | 0       |
| 車輛運搬具   | 0       | 0       | 0       |
| 器具及び備品  | 456,280 | 189,879 | 266,401 |
| 有形リース資産 | 0       | 0       | 0       |
| 合計      | 456,280 | 189,879 | 266,401 |

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高  
該当なし
10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益  
該当なし
11. 重要な後発事象  
該当なし
12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項  
該当なし